

## 企業間交流・産学連携委員会 議事録

日 時：令和3年12月8日（水）11時～12時

場 所：商工会議所 4階 会議室 EF

参加者：18名

【委員長】安藤 【副委員長】三尾

【委員】青山、下田、風岡、森、山田（晶）、菱川、前田、浅野

【アドバイザー】清水（中部大学） 【オブザーバー】足立（市産業部）

【副会頭】岡部 【事務局】山田、鈴木、白木、高木、丹羽

### 協議事項

- 1) 令和3年度事業について
- 2) 令和4年度事業計画について
- 3) その他

はじめに、安藤委員長及び岡部副会頭の挨拶及び、委員の変更に伴い菱川氏より挨拶。

### 協議事項1) 令和3年度事業について

事務局・高木係長より、資料を基に令和3年度事業実施状況（行政マッチング商談会、中部大学協働授業、KASUGAI 産学交流プラザ、かすがいビジネス商談会、ビジネス交流会）について説明。

安藤：中部大学協働授業について参加した意見を求める。

前田：自社PRのため、分かりやすい資料作りを取組んだ。若い学生の生の声を聞くことができ、意外なアイデアもあったため良い機会だった。

清水：学生から定員の6倍の人気があった。今まで企業を勉強する場がなく、社長さん等の考え方を知る良い機会となっている。来年度、正科目となる予定。

山田（晶）：過去中部大学生の採用実績はないが、市内企業を知るきっかけとなり良かった。

安藤：かすがいビジネス商談会について意見を求める。

現状としては、ビジネス交流会は別日開催か。

高木：商談会に参加している企業が交流会に参加できない可能性があるため、別日で検討している。

青山：金融機関に協力を依頼し、（発注）企業を紹介してもらってはどうか。

三尾：ビジネスマッチングに関して、企業ニーズにないものも提案できる仕組みにはどうか。

安藤：実施形式にもよるが、商談会と交流会は同日開催が良いと思う。

足立：別日開催で、講演会もない方が良く思う。目的は商売であることや、スケジュール的にも厳しい。発注企業リスト 35 社の内、31 社が大手製造業。中小企業も発注できるようにした方が良く。

鈴木：発注企業リストは、事務局で考えたものであるため、皆さんの知り合いで推薦・紹介をお願いしたい。

山田(晶)：発注企業の興味があること等は事前に分かるのか。

高木：自社で抱えている課題を出してもらい一覧表を作成し、受注企業募集時に公開する予定。ただ、課題にない提案もできるようにしていきたい。(行政マッチング商談会を参考に。)

三尾：行政(春日井市)の参加は良いか。

足立：声を掛けていただければ随時可能。

## 協議事項 2) 令和 4 年度事業計画について

事務局・高木係長より、資料を基に令和 4 年度事業計画(かすがいビジネス商談会・ビジネス交流会、展示商談会出展支援事業、中部大学協働授業)について説明。

安藤：中部大学協働授業について、募集企業等はどうするか。

高木：当委員会メンバーには、ほぼ担当していただいているため、当委員会か枠を広げて募集をしても良く思う。

清水：受ける学生は変わるため、問題はない。

三尾：会議所として参加してはどうか。会議所が何をやっているか知らないと思う。

足立：かすがいビジネス商談会について、金融機関に 1 社ずつ紹介してもらうことで、手間が省ける。また、企業誘致の際、下請けの環境が変わるため、そのタイミングでやる必要がある。

青山：展示商談会出展支援事業について、やる気がある企業に対しては、サポートを続けて行って欲しい。

現在、中部大・春日丘・第一まで含めると 1 万 4 千人の学生と OB 会 8 万人がいるため、中部大で造っているお酒「白亜」等をふるさと納税の返礼品とし、PR できないか。(産学連携として)

高木：事業計画については、正副委員長を含め検討させていただき、年明け後の委員会時に再度提案させていただく。

協議事項3) その他

事務局・高木係長より、添付資料を紹介。中部大学との連携に関する包括協定締結や会員増強運動、セミナー等を案内。

最後に、三尾副委員長から一言

三尾：委員会内での意見を基に、方向性を春日井市・会議所と検討していき、より良いビジネスマッチングをつくっていきたいと思いますので、マイナスな意見等も含め、何でも言っていただければと思います。本日は、ありがとうございました。

以上で委員会を終了

時に12時